

2019年 暮らしの学校 第1講座 はこれ



映画鑑賞です。

**笑う？ もちろん笑えます。歴史を学ぶ？
こんなの作るって、ドイツってすごい！……**

この映画はドイツ映画です。

こんなに考えるコメディも珍しい。

とにかく現代ドイツにあのヒトラーが現れたのですから……。

8月27日(火)14:00～16:00

あおぞら3階ホール

【レビューより】

1936年のドイツに生きて暮らしていたなら
自分もこの男を支持したかも知れない。

帰ってきた

ヒトラー



**笑うな
危険！**

ブラックジョークだけど、ヒトラーはカッコいい？ユダヤ人虐殺がなければ……。

迫力がある、説得力がある。笑う人や、感動？で涙を流す人もいる。右派やナショナリズム、民族主義などいろいろな問題を抱えるから、ドイツで受け入れられたのかも。国家社会主義でも民主主義でも、言葉として政治に利用されると、国民は納得して（させられて）全てを受け入れるのかもしれない。

笑える、考えさせられる。今の時代によみがえるのはヒトラーではないけど、排外主義や自国第一主義など、多くのヒトラーが現れているのかもしれない。行き着く先が100年前と同じでは、ブラックジョークにもならない。考えるの一人一人なのだけ。